

市政モニター調査 結果 (地域福祉に関する市民意識調査)

1 調査目的

令和6年度を始期とする【仮称】第5期旭川市地域福祉計画・旭川市社会福祉協議会第7期地域福祉活動計画の策定に当たり、地域福祉の認知度を探るほか、身近な地域における住民同士の支え合いに関する意識などを調査し、計画づくりの参考とする。

2 調査期間

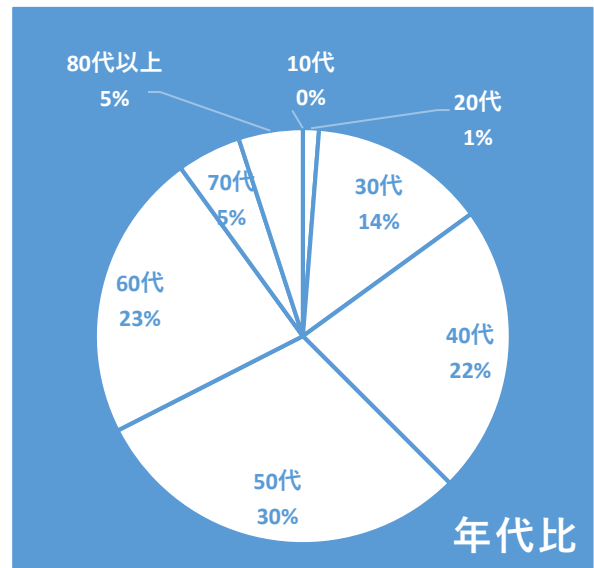
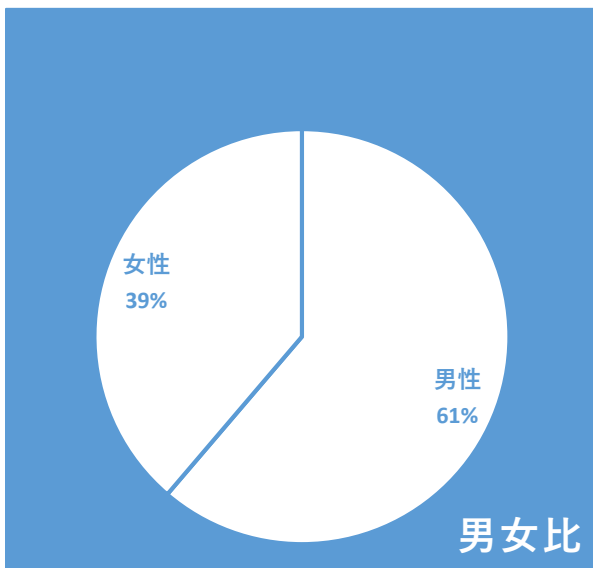
令和5年6月9日（金）から令和5年6月23日（金）まで

3 調査対象等

(1) 調査対象 市政モニター登録者 131名

(2) 回答者数 80人（回答率 61.1%）

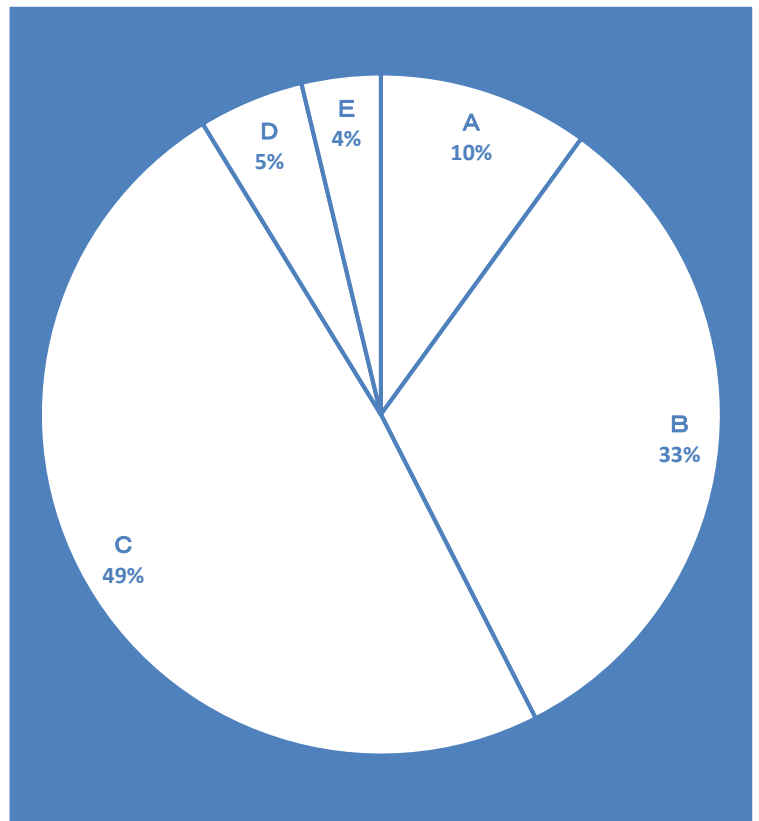
年代	性別				合計	
	男性		女性			
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
10代	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
20代	0	0.00%	1	3.22%	1	1.25%
30代	3	6.12%	8	25.81%	11	13.75%
40代	10	20.42%	8	25.81%	18	22.50%
50代	14	28.57%	10	32.26%	24	30.00%
60代	14	28.57%	4	12.90%	18	22.50%
70代	4	8.16%	0	0.00%	4	5.00%
80代以上	4	8.16%	0	0.00%	4	5.00%
合計	49		31		80	



設 問 1 あなたの世帯構成についてお伺いします【一つのみ選択】

n= 80

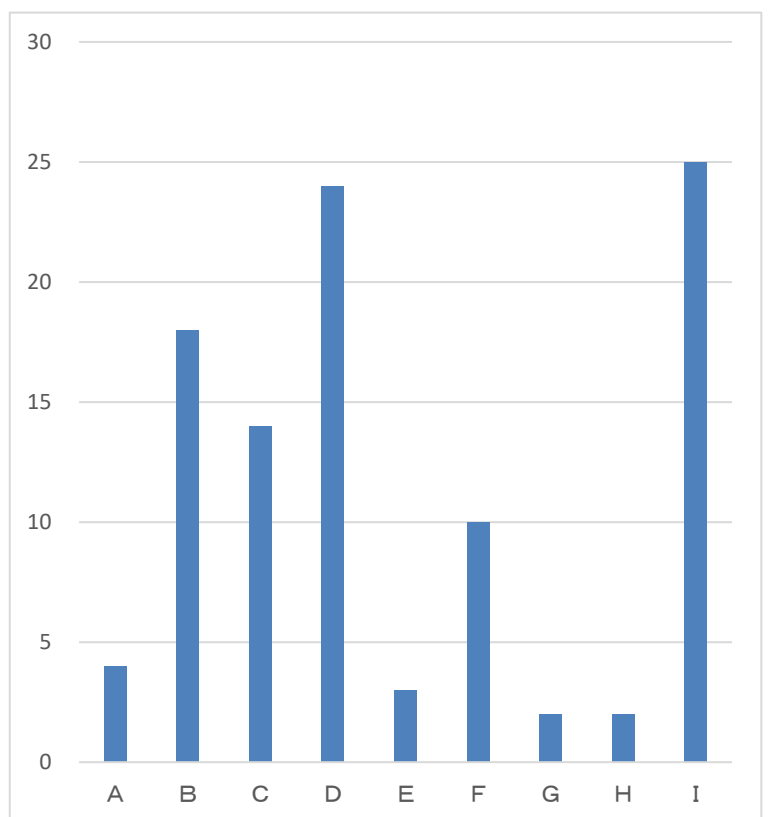
A	ひとり暮らし	8
B	夫婦のみ	26
C	親と子（2世代）	39
D	親と子と孫（3世代）	4
E	その他	3



設 問 2 あなたが現在一緒に住んでいるご家族の中に次のような方はいますか【複数回答可】

n= 80

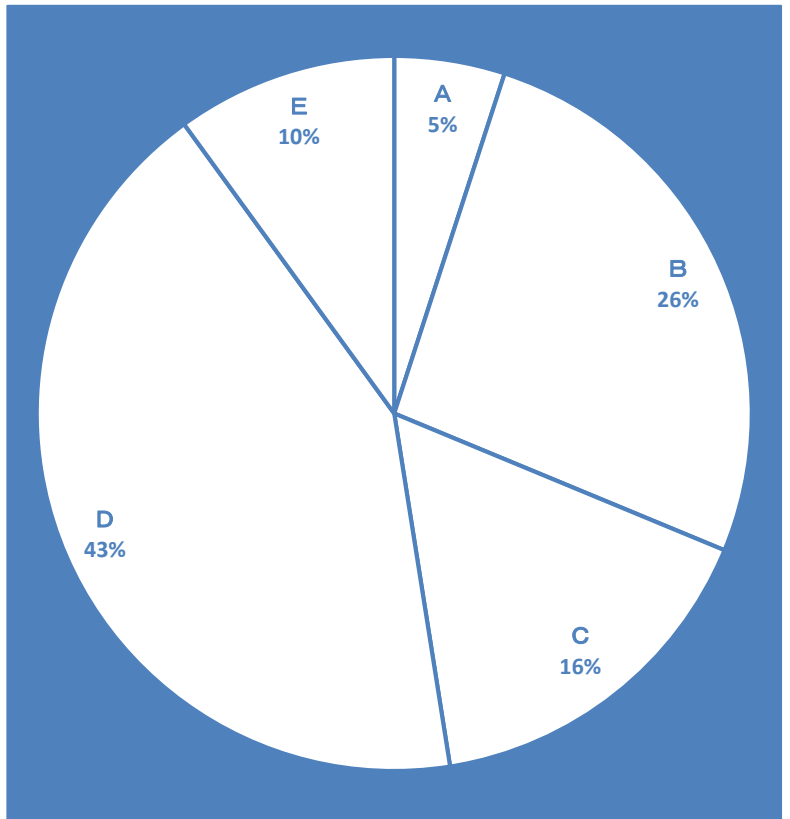
A	就学前の子ども	4
B	小中学生	18
C	高校生	14
D	65歳以上の高齢者	24
E	要介護又は要支援認定を受けている方	3
F	障がいのある方	10
G	自宅で病気療養している方	2
H	求職中の方	2
I	いずれもない	25
合 計		102



設 問 3 近所の人との普段の交流の状況についてお答えください【一つのみ選択】

n= 80

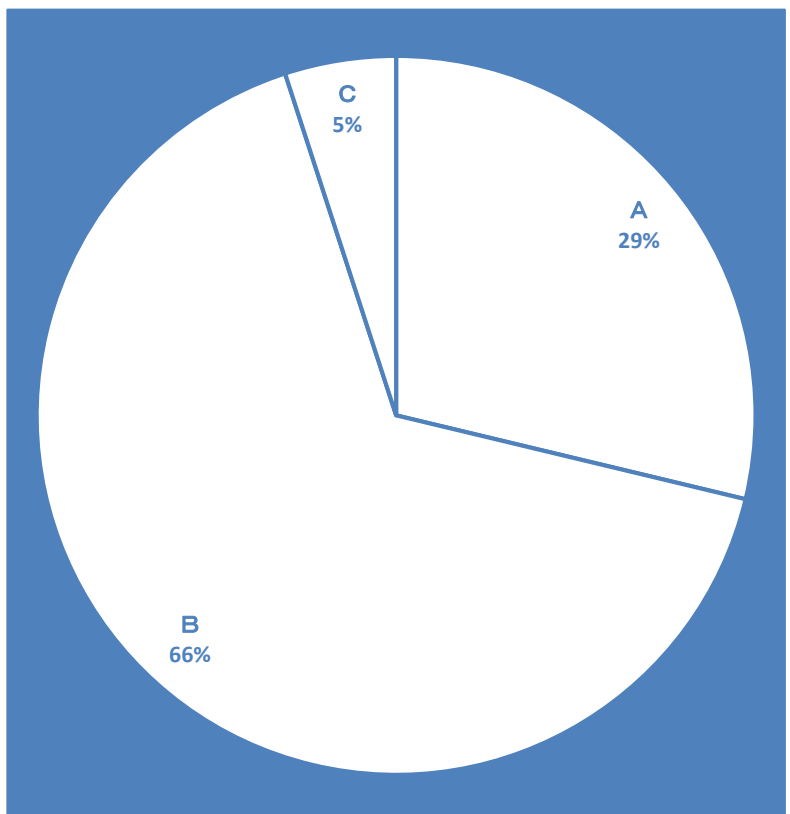
A	困りごとを相談したり親身に話を聞いてもらえる人がいる	4
B	日常的に話をする人がいる	21
C	たまに世間話をする人がいる	13
D	道で会えば、あいさつをする程度	34
E	交流はしていない	8



設 問 4 現状の近所づきあいについて、どのように感じていますか【一つのみ選択】

n= 80

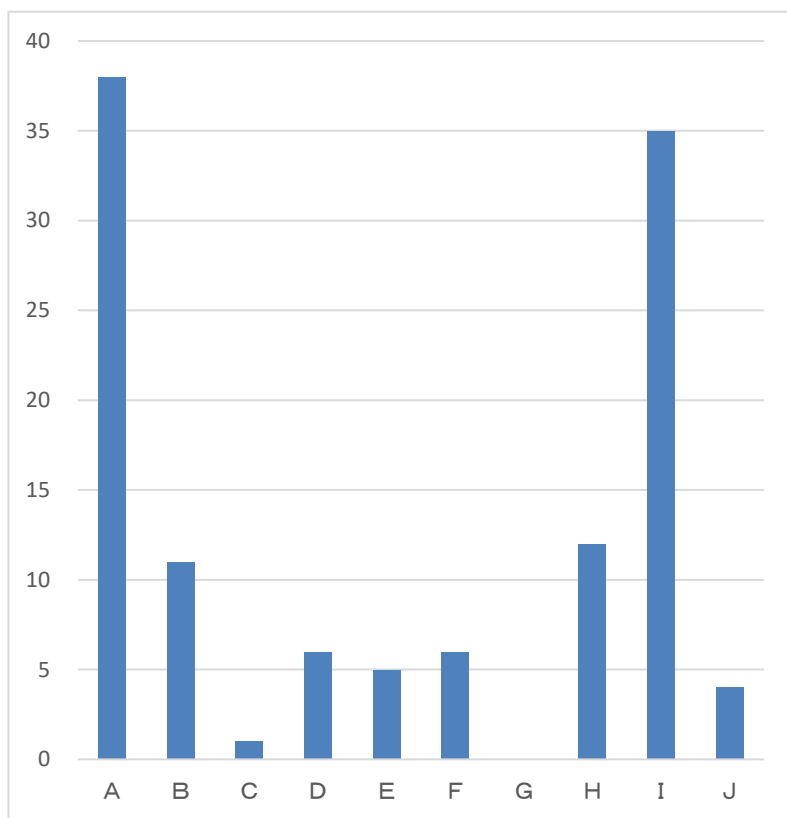
A	もっと交流ができれば良いと思っている	23
B	現状のママが良いと思っている	53
C	あまり交流をしたくないと思っている	4



設問 5 地域活動に参加したり，協力したりしていますか。また参加等をしている場合はどのような活動をしていますか【複数回答可】。

n= 80

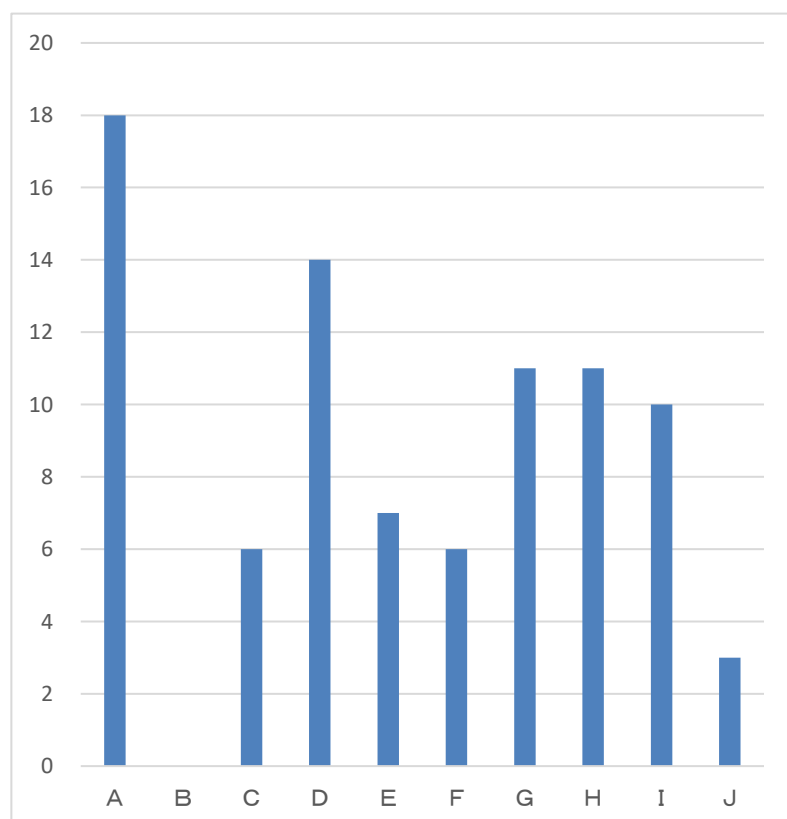
A	町内会の行事や活動（敬老会，夏まつり，子ども会，新年会，ごみ拾い，草刈りなど）	38
B	PTA活動	11
C	老人クラブ活動	1
D	ファミリーサポーターなどの有償ボランティア活動	6
E	見守りなどのボランティア活動	5
F	通学路の安全確保などの交通防犯活動	6
G	消防団活動	0
H	文化・スポーツ等のサークル活動	12
I	特に参加したり，協力したりしていない	35
J	その他	4
合 計		118



設問 6 設問5で「特に参加したり，協力したりしていない」を選んだ方にお伺いします。あなたが，地域の活動に参加していない理由を教えてください【複数回答可】。

n= 35

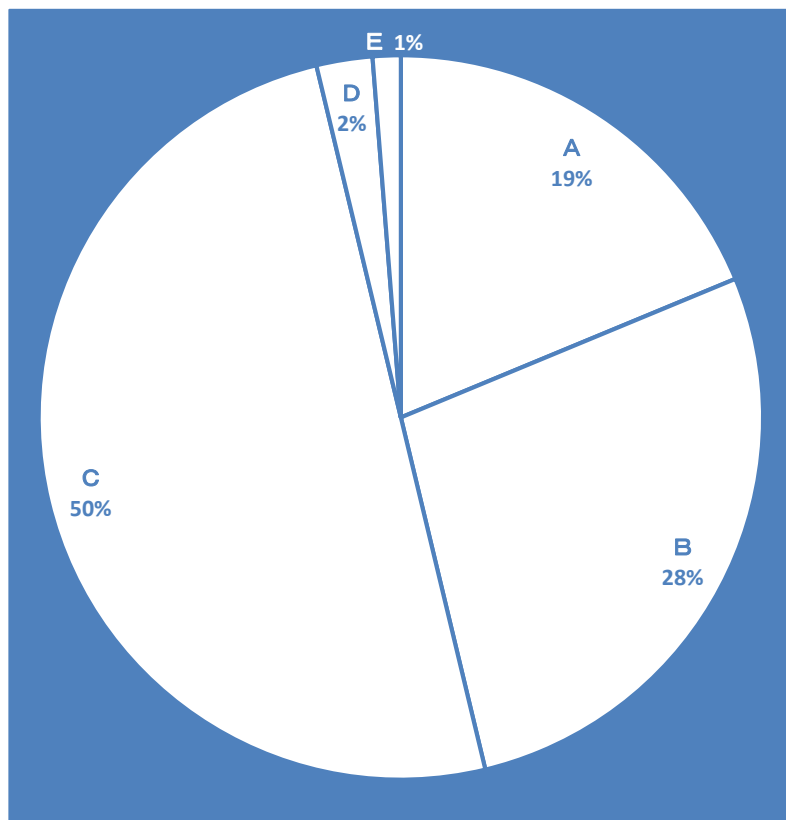
A	仕事や家事などで時間がない	18
B	看護や介護などのために家を空けられない	0
C	心身の健康に不安がある	6
D	地域の活動の情報や参加機会がない	14
E	趣味などで忙しい	7
F	参加すると人間関係がわずらわしい	6
G	一度活動に参加すると，役員（活動の運営や企画）を打診されそうだから	11
H	参加者に知り合いがないので，活動しようと思わない	11
I	必要性を感じない	10
J	その他	3
合 計		86



設問 7 新型コロナウイルス感染症の流行を経て、あなたの近所づきあいや地域活動の参加について変化はありましたか【一つのみ選択】。

n= 80

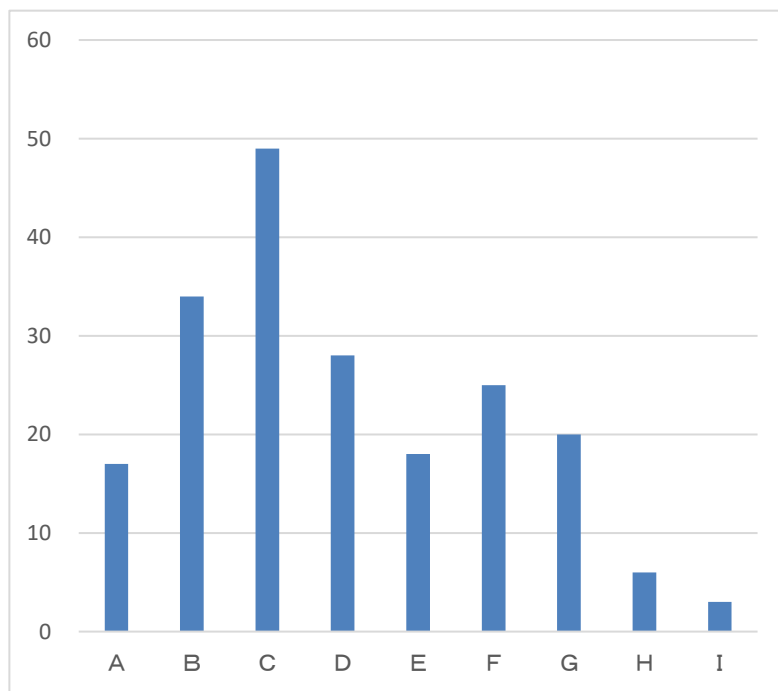
A	大きく減った	15
B	やや減った	22
C	変わりはない	40
D	やや増えた	2
E	大きく増えた	1



設問 8 ……(略)……多くの方が地域の活動に参加しやすくなるためには、あなたはどのようなことが大切だと思いますか【複数回答可】。

n= 80

A	活動への参加に係るさらなる周知（周知方法の工夫など）	17
B	活動目的の明確化及び活動内容の充実	34
C	身近な場所で気軽に参加できるような雰囲気	49
D	参加するための費用がかからないこと	28
E	既存の活動に関わらず、世代間での意見交換を踏まえた活動内容の決定	18
F	子どものうちから地域（福祉）活動を学ぶ機会の充実	25
G	ICT（◆2）を取り入れた活動など柔軟な参加方法等について検討する	20
H	わからない	6
I	その他	3
合計		200

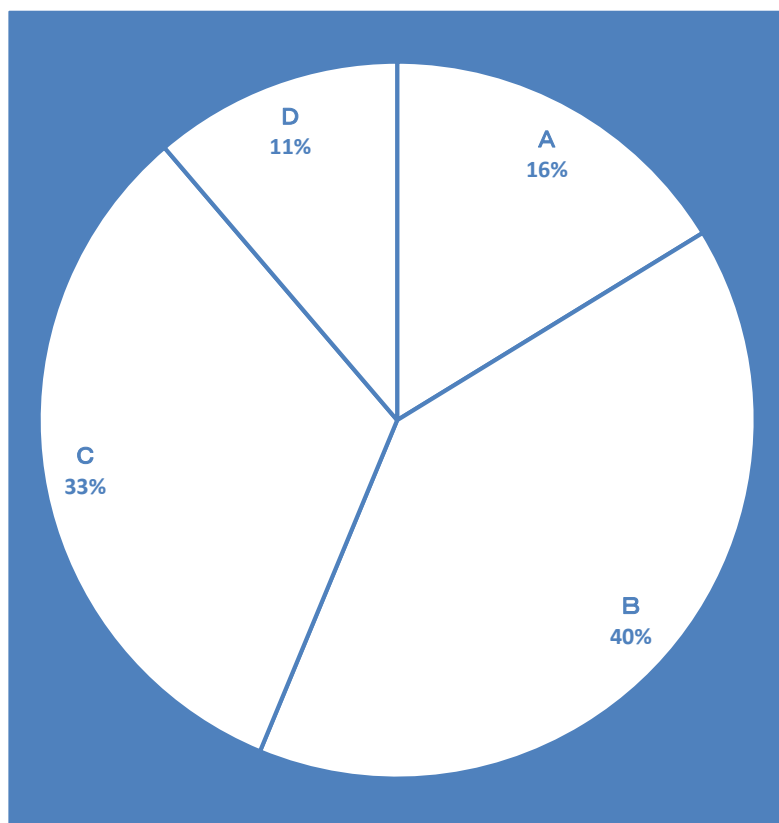


◆2 情報(Information)や通信(Communication)に関する技術(Technology)の総称。通信技術を使って、インターネットを通じて人と人がコミュニケーションをとるための技術【例：スマートフォン等を利用した、対面によらない情報のやりとり(テレビ電話)や動画視聴などの各種サービスの利用など】

設問 9 あなたは、生活する中で困ったときに、身近な地域の方に相談に乗ってもらったり、手助けしたりしてほしいと思いますか【一つのみ選択】。

n= 80

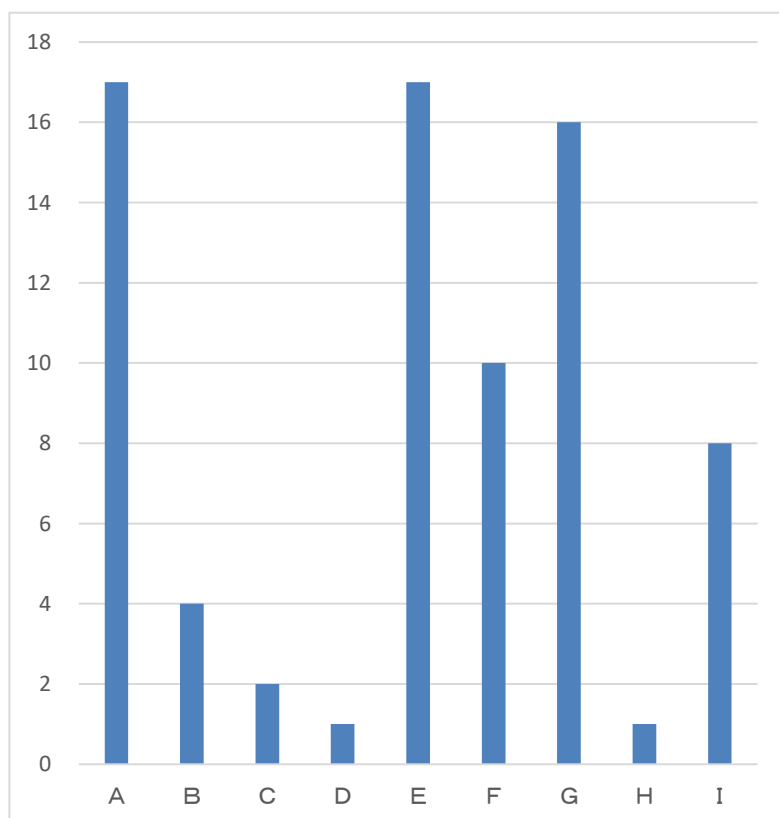
A	思う	13
B	どちらかと言えば思う	32
C	どちらかと言えば思わない	26
D	思わない	9



設問 10 設問9で「思う」又は「どちらかと言えば思う」を選択した方にお伺いします。あなたは、身近な地域の方からどのような「手助け」をしてほしいと思いますか【複数回答可】。

n= 45

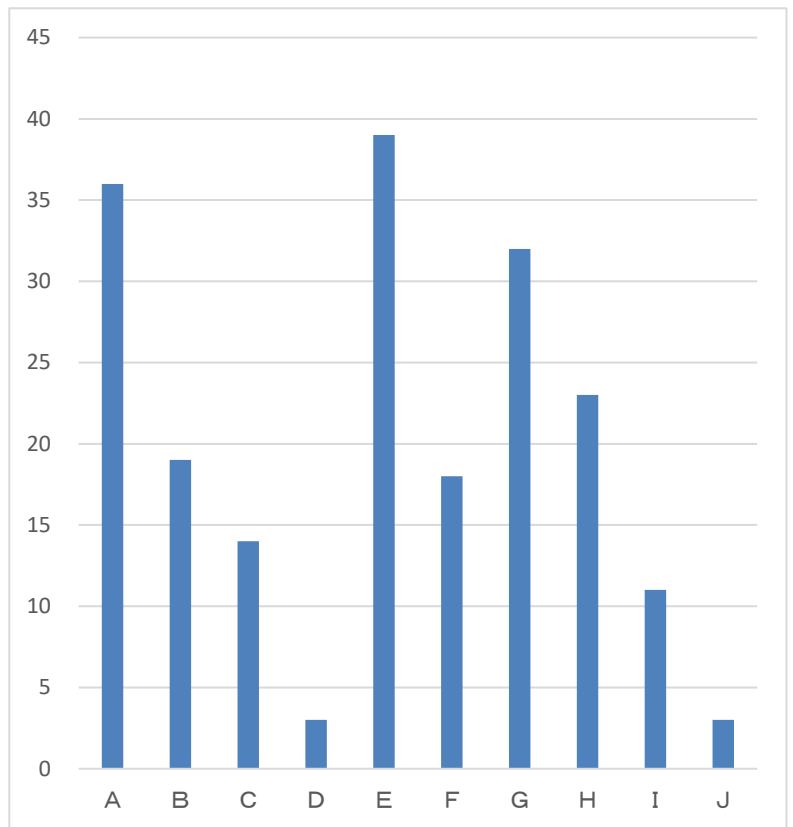
A	話し相手や軽易な相談の相手になってほしい	17
B	買い物や近くまでの外出の付添いや送迎をしてほしい	4
C	一時的に子どもを預かってほしい	2
D	介護や看病の手助けをしてほしい	1
E	安否確認や見守りをしてほしい	17
F	庭の草刈りをしてほしい	10
G	除雪をしてほしい	16
H	ごみの搬出を手伝ってほしい	1
I	その他	8
合 計		76



設問 11 あなた自身は、身近な地域の方にどのような「手助け」ができると思いますか【複数回答可】。

n= 80

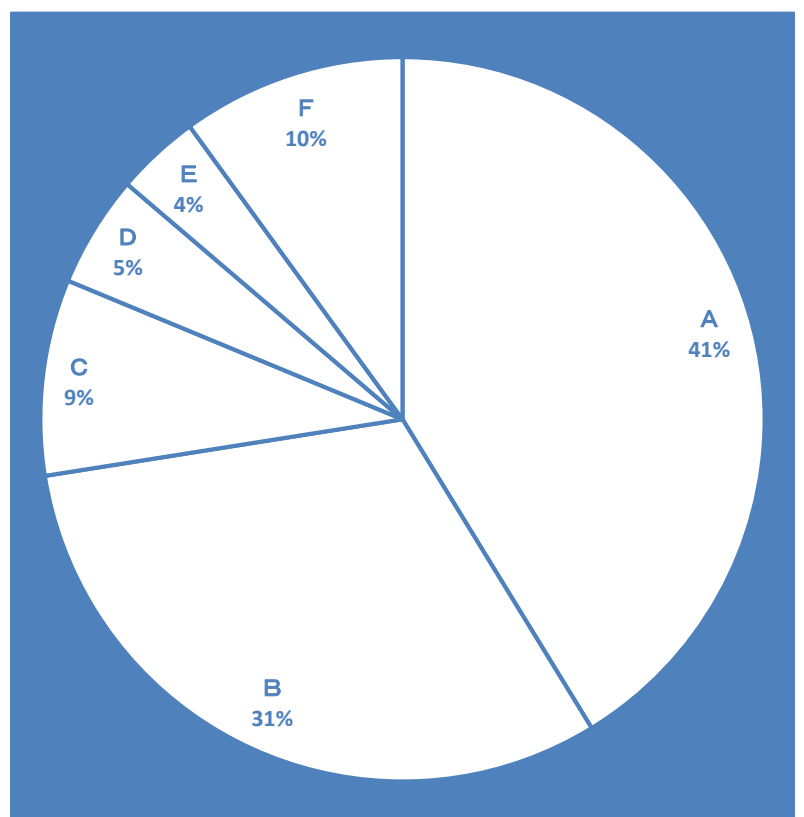
A	話し相手や軽易な相談の相手	36
B	買い物や近くまでの外出の付添いや送迎	19
C	一時的に子どもを預かる	14
D	介護や看病の手助け	3
E	安否確認や見守り	39
F	庭の草刈り	18
G	除雪	32
H	ごみの搬出	23
I	手助けできることはない	11
J	その他	3
合 計		198



設問 12 あなたが、支え合いの仕組みづくりを進められると思う「身近な地域」はどの範囲ですか【一つのみ選択】。

n= 80

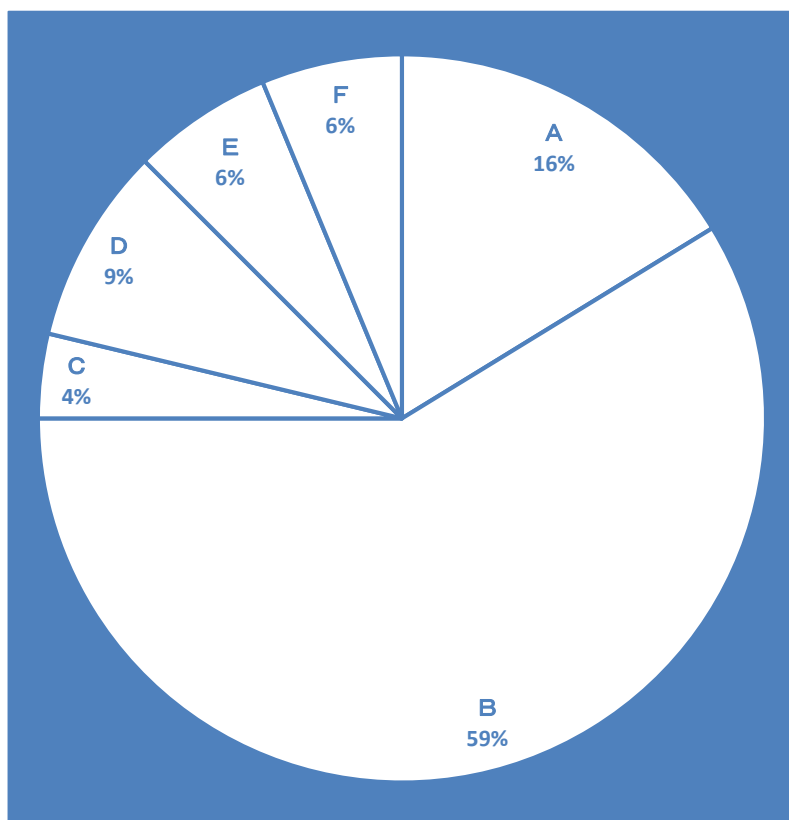
A	お隣、ご近所の範囲	33
B	町内会の範囲	25
C	小学校区内の範囲	7
D	中学校区内の範囲	4
E	単一の地区市民委員会の範囲	3
F	旭川市全体	8



設問 13 ……(略)……あなたは(このような)ボランティア活動の有償化について、どのように受け止めますか【一つのみ選択】。

n= 80

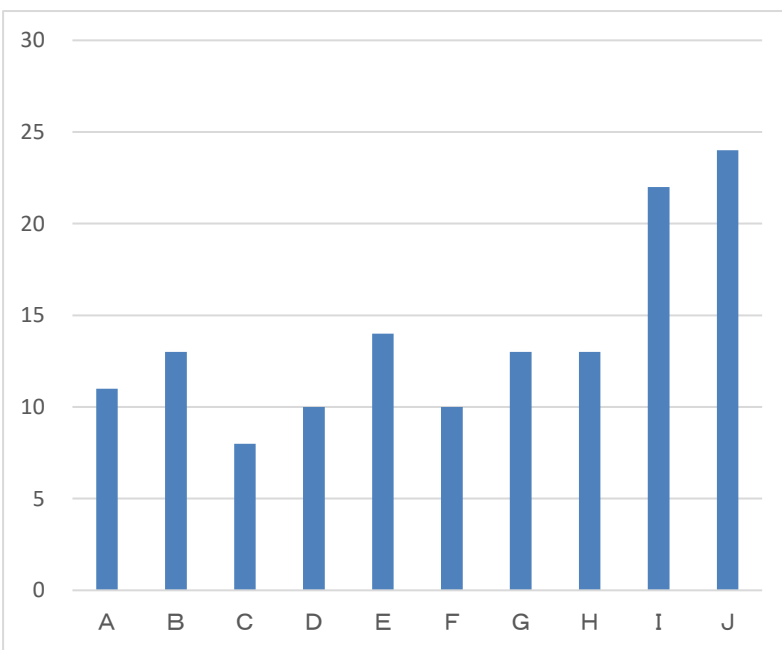
A	有償化した方が、支え合いの輪が広がるので望ましい	13
B	有償化した方が、頼んだり、引き受けたりし易くなる	47
C	有償化すると、頼みにくいし、引き受けにくくなる	3
D	有償化しても、地域における支え合いが進むとは思わない	7
E	ボランティア活動は無償であるべきだ	5
F	その他	5



設問 14 あなたの身近で、制度の狭間や複合化・複雑化した福祉的課題を抱える(抱えていることが疑われる)次のような世帯(◆3)がいることを見聞きしたことはありますか【複数回答可】。

n= 80

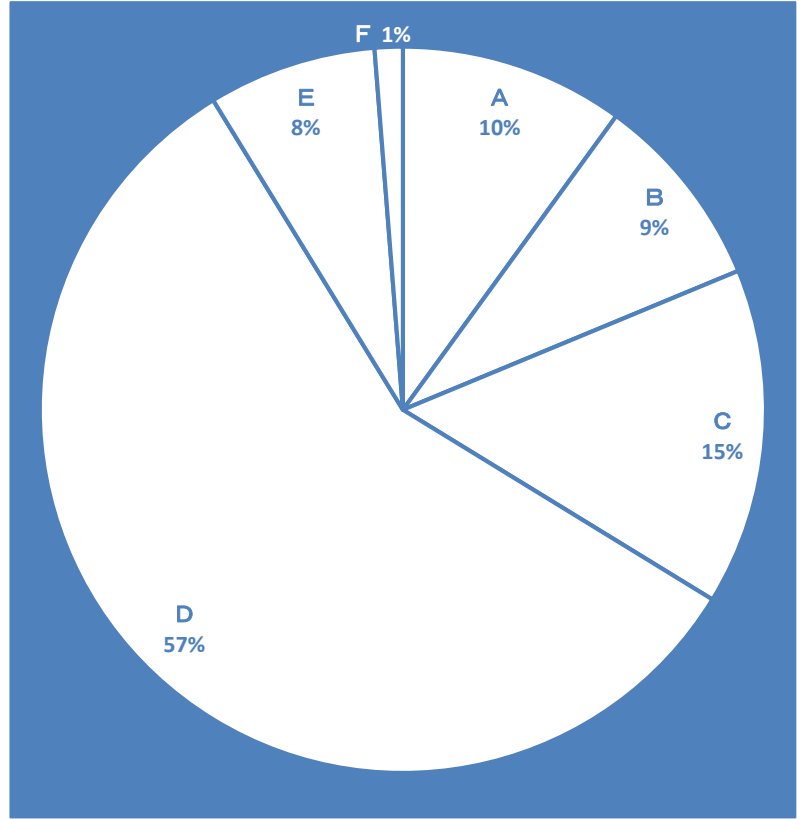
A	子育てと親の介護に同時に直面している世帯	11
B	高齢の親と就労していない独身の中高年の子どもで構成される世帯	13
C	障害のある子どもを監護している親自身が、高齢や障害等により判断能力の低下が疑われる世帯	8
D	ごみが適正に処分されず周辺住民から苦情等が寄せられている世帯	10
E	ひきこもり状態の子を抱え適切な支援につなげていない世帯	14
F	ヤングケアラー(家事や家族の世話などで学業や生活習慣に影響がある子ども)がいる世帯	10
G	家族や地域との関わりがなく、社会的に孤立した世帯	13
H	本人は支援の必要性を認識していないものの、周囲からみて支援の介入が求められると思われる世帯	13
I	上記のような世帯を見聞きしたことはない	22
J	わからない	24
合計		



◆3 介護保険制度や障害福祉サービス等の公的な福祉制度に該当しないものの日常生活に支援が必要なケースや、世帯の中で複数の福祉制度の活用を要する、または周囲との関わりに拒否的で社会的に孤立している等の理由で日常生活に支援が必要な(必要と思われる)ケース

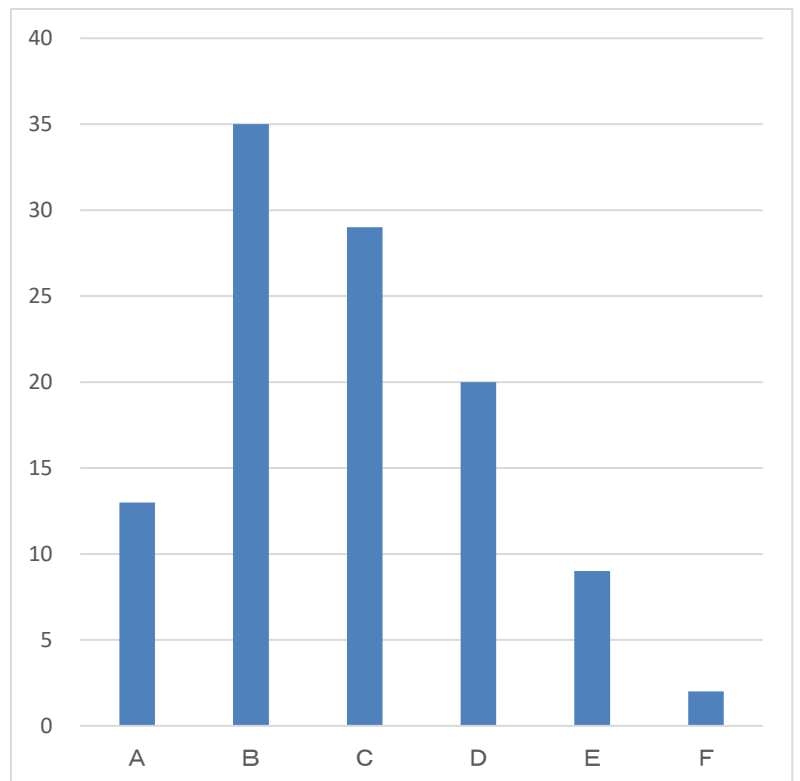
設問 15 もし地域の中で困りごとを抱えた人や世帯を把握したとき、あなたは最初にどのように行動すると思いますか【一つのみ選択】。

n= 80		
A	できるだけ自分や家族で解決を試みる	8
B	近隣の人と相談する	7
C	地域内の第三者に相談する	12
D	市役所などの第三者機関等に相談する	46
E	何もしない	6
F	その他	1



設問 16 設問15で誰か又はどこかに「相談する」を選択した方にお伺いします。あなたは、相談相手又は相談先にどのようなことを最も期待しますか【最大2つ選択可】。

n= 65		
A	世帯等の情報や状況を聞いて、困りごとを整理してあげてほしい	13
B	適切な窓口につなげてほしい	35
C	専門機関が継続的な関わりを続けてあげてほしい	29
D	専門機関が困りごとを解決してあげてほしい	20
E	プライバシーに配慮してほしい	9
F	その他	2
合 計		108



設問 17 設問15で「何もしない」を選択した方にお伺いします。相談しない理由について教えてください【複数回答可】。

		n= 6
A	誰に・どこに相談したらよいか不明瞭だから	0
B	個人情報の保護のため、対象者の情報を伝えるべきではないと考えているから	1
C	相談したことについて、対象者本人に伝えることを懸念しているから	0
D	自分自身が直接的に迷惑を被っていないから	0
E	対象者本人自身が困っているのかどうかわからないから	3
F	相談はするのは良いが、以後対象世帯への継続的な関わりを求められると困るから	3
G	自分の都合が良い時間帯に相談することができないから	2
H	その他	0
合 計		9

